

富山県感染症発生動向速報

(2026年第11週分・3月9日～3月15日)

■今週の主な動向

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は2週連続で増加し、例年より多い状況です。

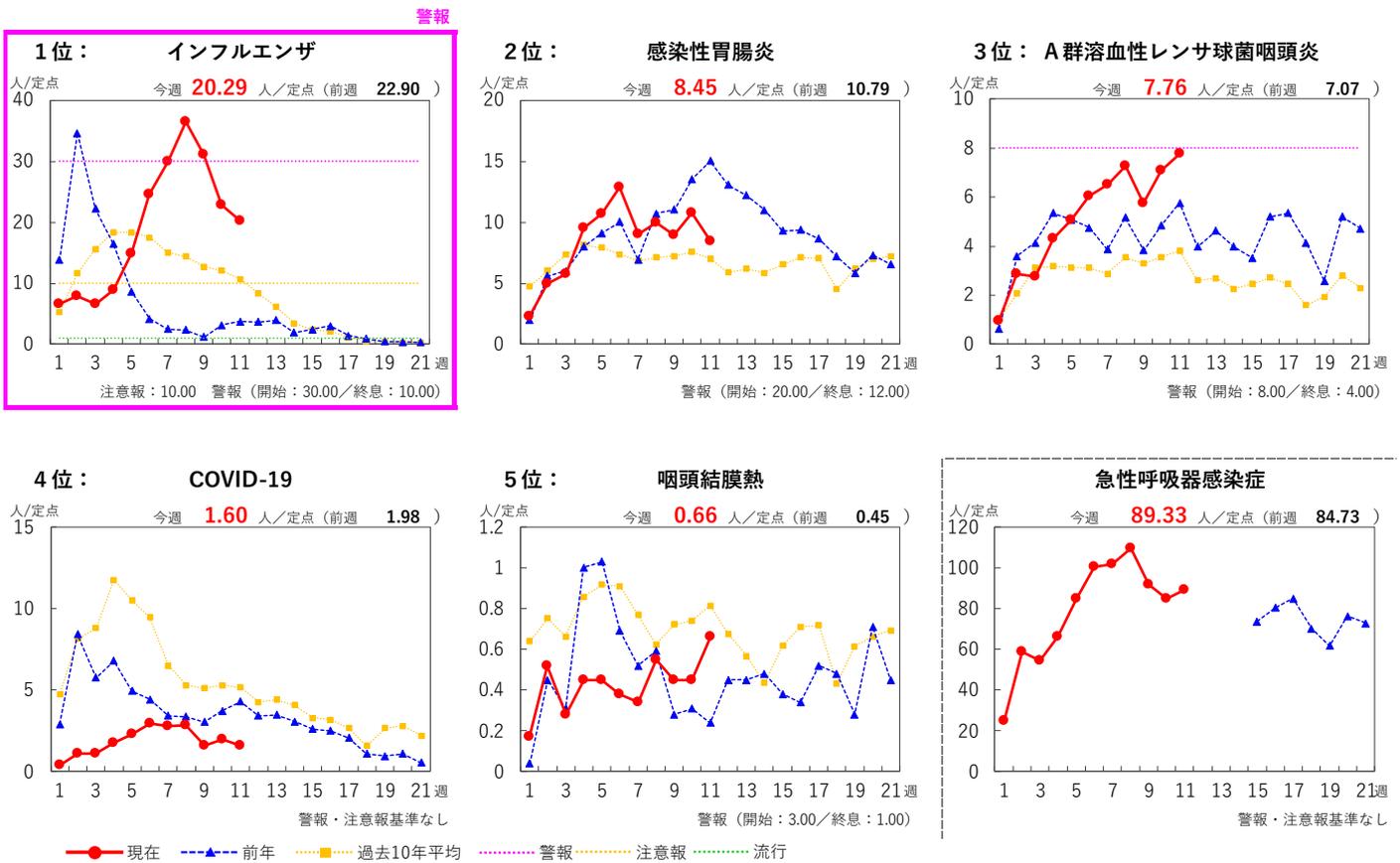
5歳前後の小児を中心に、例年冬から春にかけて報告数が増加する傾向があります。感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。(今週のインフォメーション参照)

○インフルエンザの報告数は減少傾向ですが、依然として多い状況が続いています。

B型の検出割合は88.7%と依然多くを占めています。A型に感染した方でもB型に再感染する可能性があります。引き続き、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第9週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患 + 急性呼吸器感染症 (第11週・3/9～3/15)

厚生センター(保健所)管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 2件 (①60歳代、男性 ②90歳以上、女性)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第10週診断分: 80歳代、女性、A群)

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (70歳代、女性)





発熱・のどの痛み 溶レン菌感染症にご注意

《 インフォメーション 》

● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶レン菌感染症）

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌（Group A *Streptococcus*: GAS）による上気道感染症であり、小児科定点把握疾患となっています。

今週（第11週）の富山県のGAS咽頭炎の報告数は、定点医療機関あたり7.76人でした（図）。例年冬から春にかけて報告数が多くなる傾向があります。2023年から2024年の冬には、警報開始

基準の8.00人/定点を超える大きな流行がありました。2017年以降に国内に侵入した病原性の高いM1_{UK}系統株が、劇症型溶血性レンサ球菌感染症やGAS咽頭炎の増加に関与した可能性が示唆されています（[IASR 2024;45:29-31](#)）。また、富山県においてもM1_{UK}系統株が小児のGAS咽頭炎患者から分離されています（[IASR 2025;46:19-20](#)）。2026年は年始から報告数が増加傾向にあり、第6週以降は大きな流行があった2024年と同等の報告数となっています。引き続き今後の発生動向に注意が必要です。

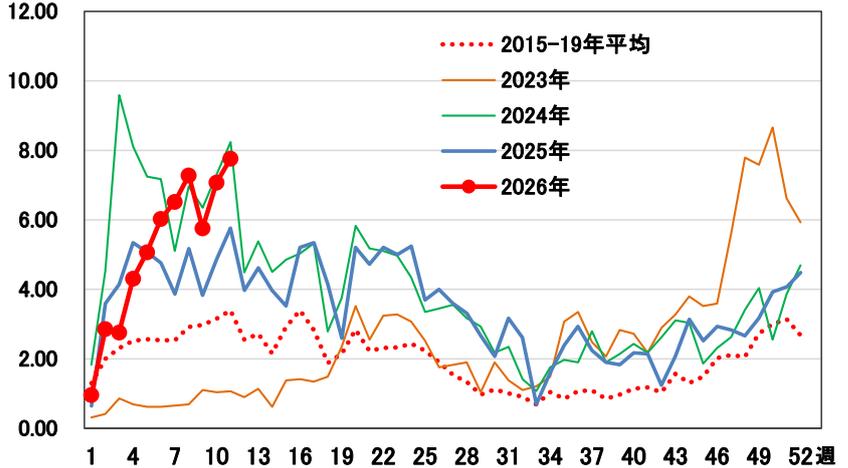
本感染症の潜伏期間は2～5日であり、突然の発熱（38～39℃）やのどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、肺炎や急性糸球体腎炎等の合併症を起こすことがあります。菌が産生する発赤毒に免疫のない人は、体や手足に小さく赤い発疹、舌に赤いブツブツ（莓舌）ができる猩紅熱を起こします。

本感染症はペニシリン系抗菌薬等の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好です。しかし、症状が消失しても医師が処方した期間まではしっかりと薬を飲み続けることが大切です。途中で飲むのを止めた場合には、菌を完全に排除することができず、再発することがあります。

患者の年齢は5歳をピークに幼児から学童期の小児が中心です。感染経路は主に飛沫、接触感染です。咽頭炎症状のある児と、基礎疾患のある方や高齢者との濃厚接触を避けることが重要です。

感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。

人/定点 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告状況（富山県）



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第11週 2026年3月9日～2026年3月15日）

分類	疾患	今週報告分（第11週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1	1		2	1		6	2	9	18	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1	1		2	1		3	2	5	11	
	四類感染症	レジオネラ症							1	1	1	1	2	6	
	五類感染症	急性脳炎							1					1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1	1		2	4
		侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1						2	2
		侵襲性肺炎球菌感染症							1		2			2	5
梅毒								2	2				3	7	
百日咳							1					6	7		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	394	508	1,295	376	1,715	4,288	4,347	3,723	12,851	3,766	16,016	40,703	
			56.29	101.60	99.62	53.71	107.19	89.33							
		インフルエンザ	106	163	218	94	393	974	1,212	884	2,808	1,111	3,851	9,866	
		15.14	32.60	16.77	13.43	24.56	20.29								
	COVID-19	10	11	17	6	33	77	222	109	176	82	370	959		
		1.43	2.20	1.31	0.86	2.06	1.60								
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1		4	3	8	16	19	8	27	7	41	102	
			0.25		0.50	0.75	0.80	0.55							
		咽頭結膜熱	2		10		7	19	19	5	66		45	135	
			0.50		1.25		0.70	0.66							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	14	90	15	102	225	66	98	686	108	672	1,630	
			1.00	4.67	11.25	3.75	10.20	7.76							
		感染性胃腸炎	32	11	68	15	119	245	305	233	631	139	1,386	2,694	
			8.00	3.67	8.50	3.75	11.90	8.45							
		水痘	1		1		2	4	1	5	22	5	43	76	
			0.25		0.13		0.20	0.14							
		手足口病									1		1	2	
		伝染性紅斑	2				1	3	5		13	4	9	31	
		0.50				0.10	0.10								
	突発性発しん		1	2	2	1	6	4	9	29	8	26	76		
		0.33	0.25	0.50	0.10	0.21									
ヘルパンギーナ							12					12			
流行性耳下腺炎							1					3	4		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							5	1				6		
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎												1	1	
	マイコプラズマ肺炎	1				1	2	7		1	2	3	13		
		1.00				1.00	0.40								
	クラミジア肺炎										1		1		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2			
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	2				2	4	50	41	47	37	93	268		
	COVID-19による入院患者	1			1	1	3	12	13	4	6	33	68		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

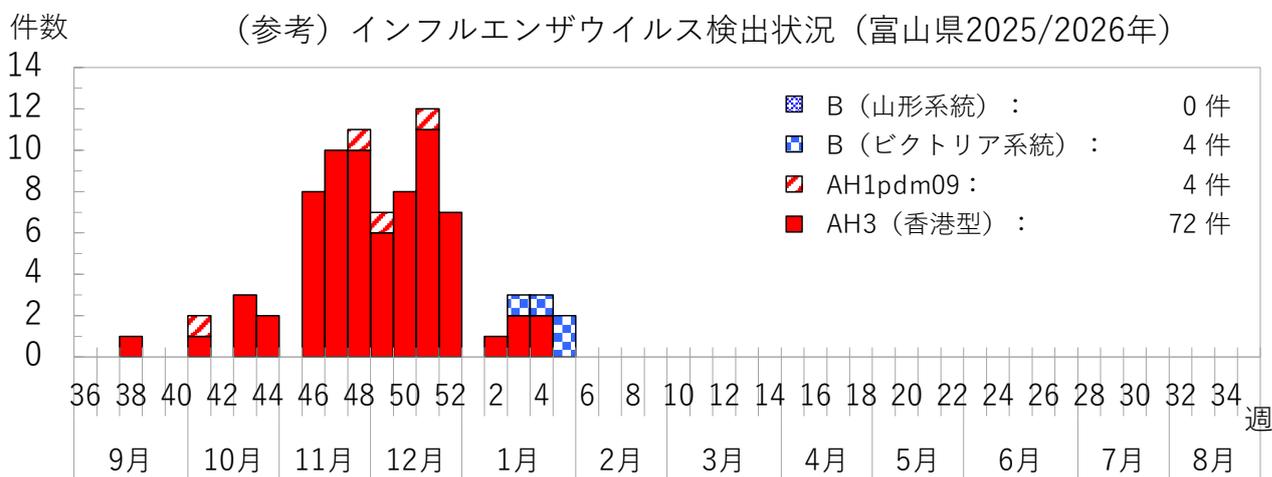
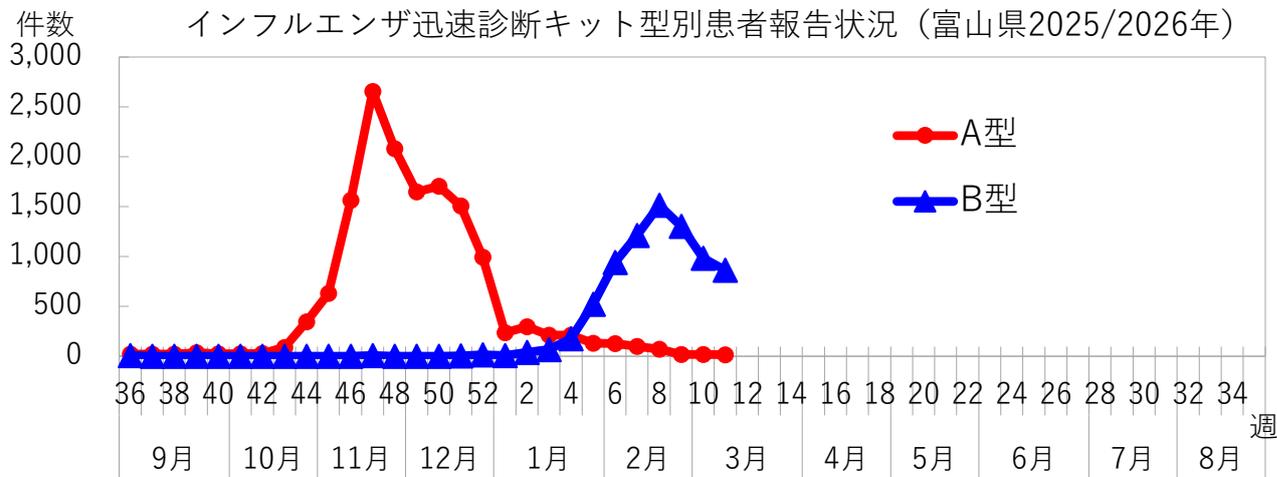
現在、下の表によると、B型が88.7%となっています。

第11週（3/9～3/15）：富山県 20.29人/定点（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	13	91	2	106
中部	5 / 5	0	142	21	163
高岡	13 / 13	2	190	26	218
砺波	7 / 7	1	91	2	94
富山市	14 / 16	0	350	43	393
富山県	46 / 48※1	16	864	94	974
富山県累計（2025年36週～）		14,842	7,680	1,960	24,482

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が46か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

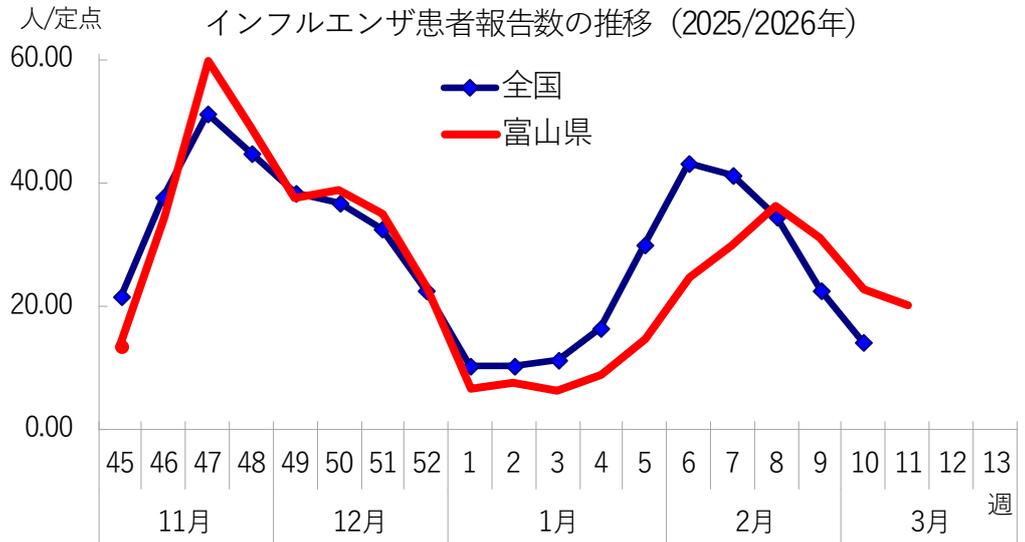


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第11週（3/9～3/15）

富山県 20.29人/定点 [新川（15.14）、中部（32.60）、高岡（16.77）、砺波（13.43）、富山市（24.56）]

今週の県内の患者報告数は、20.29人/定点となり、先週(22.90)より減少しました。

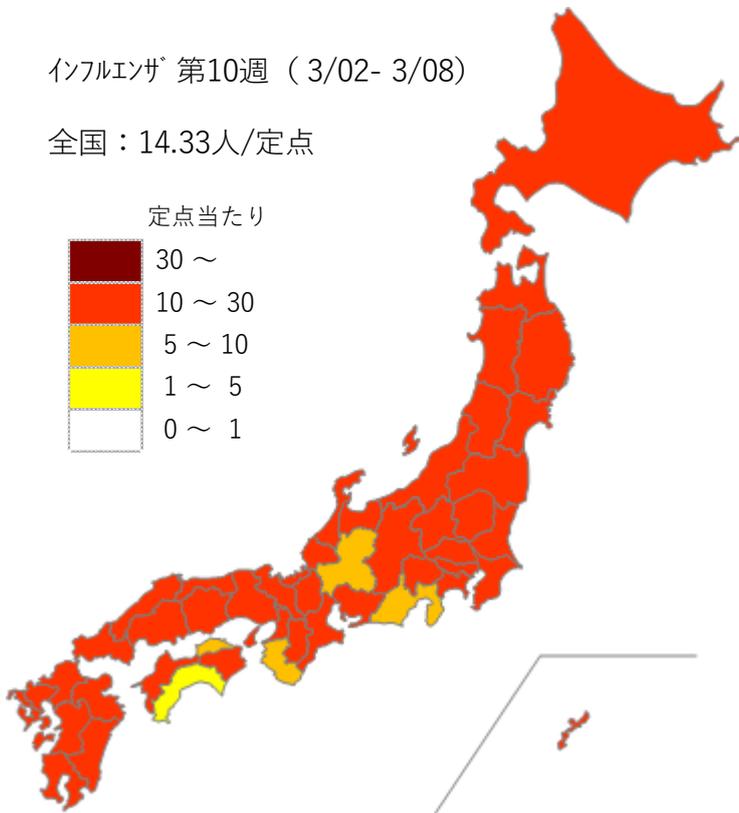
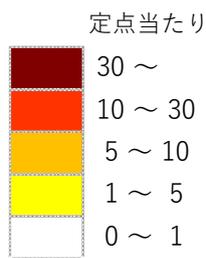


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第10週（3/2～3/8）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり14.33人となり、前週の22.68人より減少しました。1道で前週より増加しています。46都府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第10週（3/02- 3/08）

全国：14.33人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	26.11 ↑	滋賀県	12.69 ↓
青森県	24.33 ↓	京都府	16.19 ↓
岩手県	26.33 ↓	大阪府	10.05 ↓
宮城県	13.42 ↓	兵庫県	13.46 ↓
秋田県	12.88 ↓	奈良県	13.86 ↓
山形県	19.00 ↓	和歌山県	8.76 ↓
福島県	14.29 ↓	鳥取県	17.38 ↓
茨城県	11.91 ↓	島根県	14.70 ↓
栃木県	13.49 ↓	岡山県	17.36 ↓
群馬県	15.91 ↓	広島県	13.97 ↓
埼玉県	15.39 ↓	山口県	19.37 ↓
千葉県	12.44 ↓	徳島県	11.64 ↓
東京都	10.68 ↓	香川県	8.43 ↓
神奈川県	13.19 ↓	愛媛県	18.70 ↓
新潟県	24.22 ↓	高知県	4.50 ↓
富山県	22.90 ↓	福岡県	19.59 ↓
石川県	22.45 ↓	佐賀県	13.29 ↓
福井県	15.87 ↓	長崎県	16.84 ↓
山梨県	10.26 ↓	熊本県	13.14 ↓
長野県	29.08 ↓	大分県	14.28 ↓
岐阜県	8.73 ↓	宮崎県	11.50 ↓
静岡県	7.59 ↓	鹿児島県	10.32 ↓
愛知県	12.39 ↓	沖縄県	13.82 ↓
三重県	10.30 ↓	全国	14.33 ↓

